

福岡県公安委員会活動状況

<定例会の主な議題及び要旨>

平成31年2月28日（木）

【報告事項】

1 2月定例県議会の結果について

（総務部）

警察本部から「2月定例県議会は、16日間の会期を終え、2月21日に閉会した。本会議での代表質問はなかったが、一般質問では、国民民主党・県政県議団から犯罪防止施策、子供を犯罪から守るための取組等について質問が行われた。警察委員会では、平成30年度福岡県一般会計補正予算ほか4件についての審査が行われ、いずれも可決された。」旨の報告があった。

公安委員から「一般質問に対しては、どのような答弁をしたのか。」旨の発言があり、警察本部から「県警察としては、子供の自己防衛能力の向上や防犯ボランティアの育成を重要な課題と認識しており、具体的には、教育機関等と連携した地域安全マップの作成や親子で参加する防犯教室など、参加・体験型の実践的な防犯教育のほか、防犯ボランティアによる子供の見守り活動に資する情報の提供などの推進について説明を行った。」、「本質問は、過去に愛知県が模擬の街並みを制作して体験型防犯教室を行ったことを受けてのものであり、本県においても、参加・体験型の防犯教育を推進している。」旨の説明があった。

公安委員から「最近、警察と児童相談所との情報共有が課題として挙げられているが、関連する質問はなかったのか。」旨の発言があり、警察本部から「警察と児童相談所との情報共有については、昨年の9月定例県議会において質問がなされている。県警察としては、県、福岡市及び北九州市との協定に基づき児童相談所への情報提供を行っているほか、昨年7月に厚生労働省が示した警察と児童相談所との情報共有に係る新たな基準を受け、同年11月に県内全ての児童相談所と情報共有に関する協定を締結するなど、児童相談所との情報共有に努めている。」旨の説明があった。

公安委員から「県議会が滞りなく閉会したことについては、県警察の取組等に対する理解が得られているからだと思う。」旨の発言があった。

2 平成31年度総合監察の実施計画について

（警務部）

警察本部から「平成31年度の監察項目の主な改善点については、昨年の富山県及び宮城県における殉職事案の発生や本年6月から取調べの録音録画制度が本施行となることを踏まえて、殉職・受傷事故防止対策の推進状況及び取調べの高度化・適正化の推進状況の2項目を追加している。対象所属は、本部、警察署等59所属を予定している。」旨の報告があった。

公安委員から「厳正な規律の保持や非違事案が起りやすい業務に着眼した項目について、指導・教養の浸透状況を検証するとあるが、女性警察官の採用拡大等も考慮し、女性職員がセクシュアル・ハラスメント等の被害に遭わないための自己防衛方策などに関する教養等が行われているかどうかも含めて、監察の実施をお願いする。」旨の発言があり、警察本部から「その点にも着眼した監察を徹底していく。」旨の説明があった。

公安委員から「総合監察を効果的に行い、引き続き、厳正な規律が保持されるようにお願いする。」旨の発言があった。

【その他の報告事項】

警察本部から「明日は、新任所属長等研修において指示を行った後、行橋警察署の新庁舎を視察する。」旨の発言があった。

